

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：医療整備課
担当名：総務・医療企画担当
内線：3535 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
S52	病床機能転換促進事業				一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	地域保健医療計画推進費	
事業期間	平成28年度～令和 7年度	根拠法令					針路分野施策	03 0303	介護・医療体制の充実 地域医療体制の充実	SDGsゴール 3 SDGsターゲット 3-4
1 事業の概要 増大する医療需要に対応するために、病床機能に応じた患者受入体制の構築、医療機関相互の連携などを図る「医療機能の分化・連携」を推進する必要があることから、今後、埼玉県地域医療構想において不足が推計されている回復期病床への機能転換を行う医療機関の取組みを支援する。 病床機能転換促進事業 △124, 012千円					5 事業説明 (1) 事業内容 病床機能転換促進事業 74, 840千円 急性期病床から回復期病床（急性期を経過した患者の受入れや在宅への復帰支援等の機能を持つ地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床）へ転換する医療機関に対し、施設整備費及び設備整備費に関する助成を行う。 ア 施設整備費 新築・増改築及び改修に要する工事費 補助基準額(上限額) 新築・増改築 転換病床1床あたり 10, 080千円(補助率1/2、2/3) 改修 転換病床1床あたり 4, 270千円(補助率1/2、2/3) イ 設備整備費 医療機器等の備品購入費 補助基準額(上限額) 1施設あたり 10, 800千円(補助率1/2、2/3) (2) 事業計画 平成28年度 事業開始 平成30年度～ 地域医療構想調整会議での報告 (3) 事業効果 自院完結型ではなく、他の急性期病院や地域の在宅支援診療所、高齢者施設等と連携した地域完結型医療の構築を目指す事業計画への助成を行うことで、高度急性期から回復期、在宅医療等まで切れ目のない医療提供体制の整備が促進される。 【活動指標(アウトプット)】急性期病床から回復期病床への転換する病院への補助。 【活動成果(アウトカム)】不足する回復期病床が増加し、限られた医療資源を効率的に活用することができる。 (4) その他 病床機能転換を行う病院について病院の具体的な役割、地域で必要な医療機能、回復期に転換する病床数等を各二次保健医療圏で開催される地域医療構想調整会議に報告し、当会議での病床の機能分化・連携の検討に反映させる。 (5) 補正予算の概要 事業の執行額が当初の見込みを下回ったことによる減額					
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		繰入金								
決定額	△124, 012	△124, 012							0	74, 840
現計額	198, 852	198, 852							0	

事業内訳書

事業名	病床機能転換促進事業		
単位事業名	病床機能転換促進事業	予算額	△ 124,012千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 地域医療介護総合確保基金繰入金	△124,012	—	
合計	△124,012	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△124,012	—	事業の執行額が当初見込みを下回ったことによる減額
合計	△124,012	—	